

▽柏原地区に今も伝えられる「おんべ・こんべ」



8団体が出演

初のふるさと芸能祭

ふるさと芸能祭に参加したのは、13年前に原田地区社会教育推進会を母体に生まれた創作太鼓「原田清流太鼓保存会」、正月行事として柏原地区で行われている子供たちの「おんべ・こんべ」、吉原の木之元神社の「子供みこし」約300年前から伝えられているという鶴無ヶ淵神楽保存会の「神明宮神楽」、富士岡神楽保存会の「富士岡神楽」、8年前に発足した東比奈諏訪神社の大龍の舞など8団体。

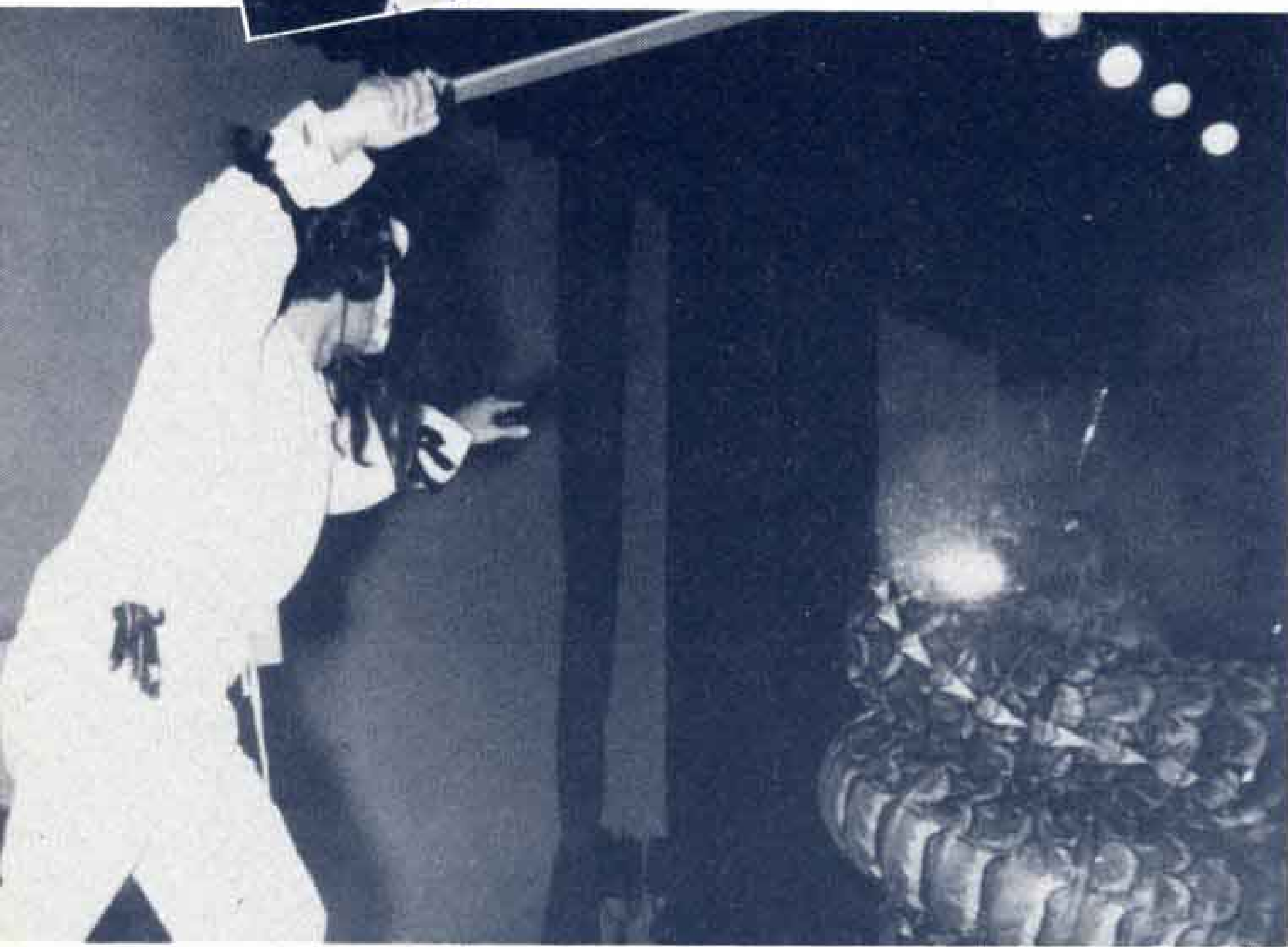
なお、富士宮市の「重須孝行太鼓」も友情出演しました。

会場では、「こんなにすばらしい郷土芸能が市内にあるなんて知りませんでした。これからも続けてほしい……」と参加者から声が出ていました。

◁大蛇を退治するすさのおのみこと



▷数少ない伝承芸能のひとつである鶴無ヶ淵の神楽



△県を代表する富士宮の重須孝行太鼓も友情出演

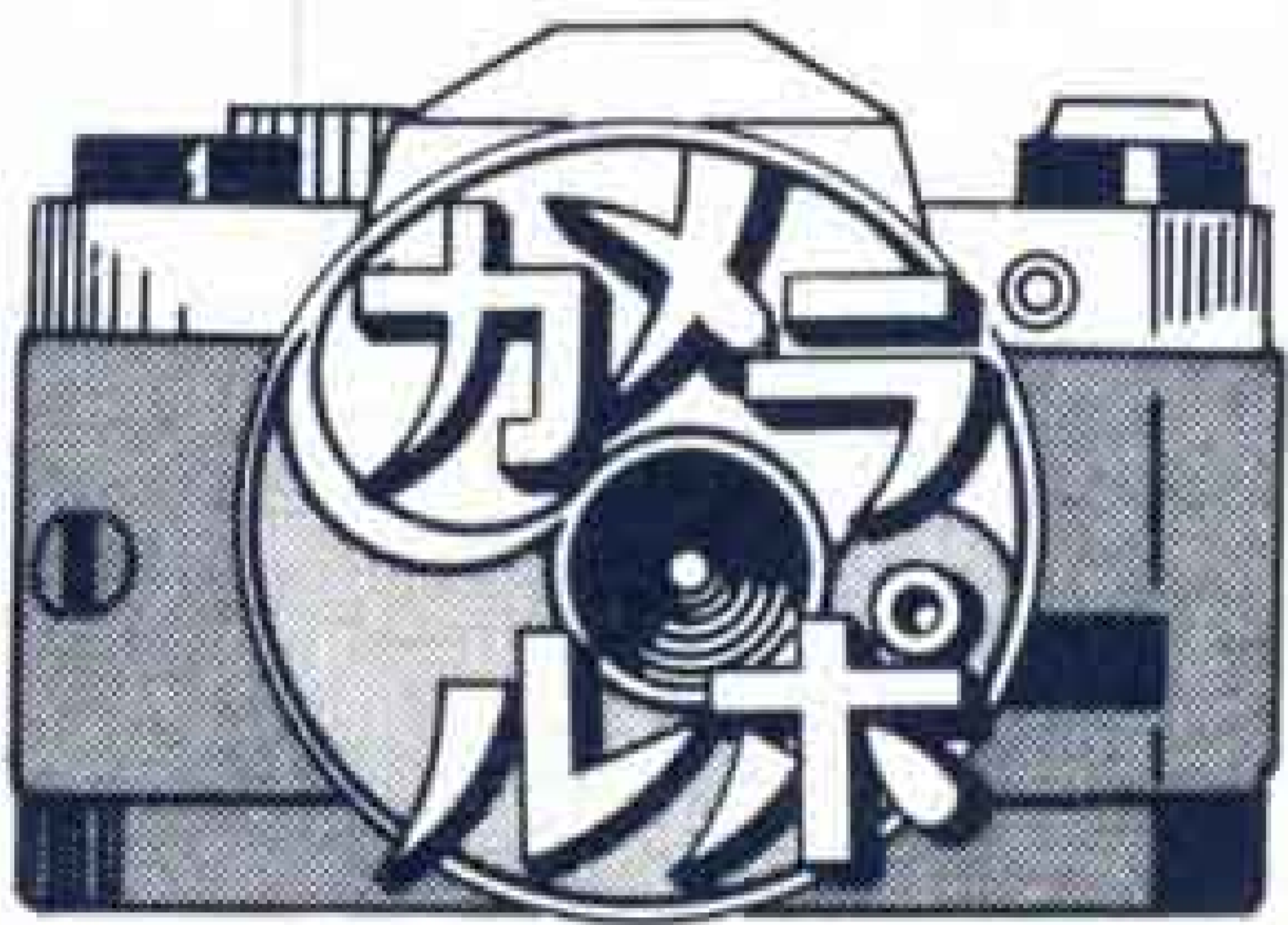


△10年前に復活した富士岡神楽

▽オープニングはテープカットで



△会場には地場産業展も



フェスタZEIを開催

税を身近なものとして理解してもらおう—と、富士税務連絡協議会などの主催による「フェスタ税」が、11月8日から11日までパビーで開催されました。

会場には、税のゆくえ写真展、無料税務相談コーナーのほか、地場産業展として地酒展、紙コーナーなどが設けられ、参加者は一つひとつ熱心に見学していました。

即売に人気の市場祭

3万人の市民でにぎわう

富士市農業祭と市場祭が11月11日の日曜日、田島の公設地方卸売市場で開かれました。これは、公設市場を一般市民に開放することによって、生鮮食料品の流通を知ってもらおうと毎年開いているもので、ことして8回目。

会場では、野菜、果物、魚などの即売に人気が集まり、約3万人の市民でにぎわいました。

▷野菜の即売には行列が



▽サア、味をみてからどうぞー

